

伊豆シャボテン動物公園

お気に入りのサボテンを選んで投票しよう
『第8回おもしろサボテン品評会』開催！
展示品は公式オンラインショップ「伊豆シャボテン本舗」にて販売

2021年10月6日
株式会社伊豆シャボテン公園



伊豆シャボテン動物公園では、2021年10月9日(土)～11月7日(日)まで、第5温室メキシコ館内において毎年好評を博している「第8回おもしろサボテン品評会」を開催いたします。

当品評会では、サボテン、多肉植物を中心とした当園のコレクションの中でも、滅多に公開されない秘蔵の植物や珍奇なサボテンなど10株を展示します。期間中は、会場に投票シールを設置して来園者による人気投票を実施、さらにSNSにて品評会の生配信を行う予定です。

また、公式オンラインショップ「伊豆シャボテン本舗」にて、今回の出展サボテンを一部販売いたします。品評会では、大きさ、状態などを実際に見ることができるため、みなさまお楽しみにしてください。

お問い合わせ先：株式会社伊豆シャボテン公園 企画広報部
TEL：0557-51-1115（代）URL：<https://shaboten.co.jp/>
〒413-0231 静岡県伊東市富戸 1085-4



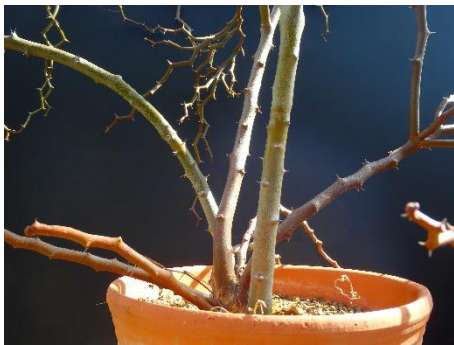
「第8回 おもしろサボテン品評会」

【開催期間】 2021年10月9日(土)～11月7日(日)

【開催場所】 第5温室 メキシコ館



■出展予定の植物



ジグザグノキ

学名: *Decarya madagascariensis*、テイディエレア科

名前の通り、ジグザグと稲妻を思わせるような枝の伸び方が特徴的な珍植物です。一属一種の植物で、マダガスカル島だけにしか生えていません。市場に出回することはほとんどない非常に珍しい植物です。本種は実生(みしょう)の株です。

★「伊豆シャボテン本舗」にて販売★



長刺白竜丸綴化 (ちょうしはくりゅうまるてつか)

学名: *Mammillaria compressa* v. *longiseta* f. *crisp.*

毛虫のようにくねった姿がなんとも美しい、非常に珍しいタイプのサボテンです。本来は丸く育つはずのサボテンが突然変異等により、帯状に育ってこのような不思議な形になりました(このような植物を綴化=テツカといいます)。これほど大きく育ったものは非常に貴重で、他では見ることの出来ない一品物のサボテンです。

★「伊豆シャボテン本舗」にて販売★



山嵐 (やまあらし)

学名: *Echinocereus conglomeratus*

長く美しいトゲがいっぱい生えている、「まさにサボテン！」といった姿の美品。そのいかつい姿によらず、上手に育てれば春には美しい大輪のピンクの花を咲かせます。やや育てにくい上級者向けなのが玉にきず!

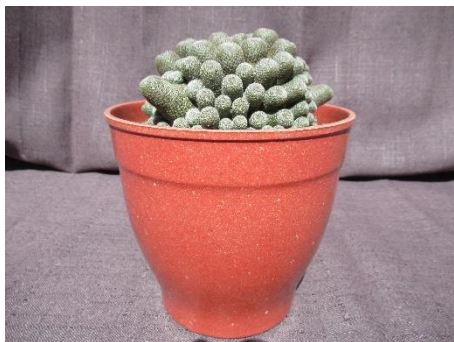
★「伊豆シャボテン本舗」にて販売★



竜翔雲 (りゅうしょううん)

学名: *Melocactua* sp

頭にトルコ帽子のような赤いふわふわしたものをかぶった、一度見たら忘れられないサボテン。実はここは花座(セファリウム)と呼ばれる部分で、このサボテンはここから花が咲きます。寒さに弱い、南米のサボテンです。



ヘリオーサ

学名: *Rebutia heliosa*

アンデスの高所に自生する小型のサボテンで、キノコを思わせるような姿をしています。サメ肌のように短いトゲが密生して生えており、触っても全く痛くありません。種名の「ヘリオーサ」とはギリシャ語で「太陽」を意味し、その名の通り、地味な姿からは想像もできないオレンジ色の鮮やかな花を咲かせます。蒸し暑さに弱く、夏は風通しの良いところで育てます。



金のなる木、花月 (カネノナルキ カゲツ)

学名: *Crassula ovata*、ベンケイソウ科

まるでコインのような、丸く可愛い葉をつける多肉植物。昔はお金がたまる縁起の良い植物として、この植物に5円玉をくっつけて売られていたのが「カネノナルキ」の名前の由来！今回展示している「カゲツ」は、その当時の方法を再現して本当にお金(古銭)をつけて展示されています。持っていれば本当にお金がたまるかも！



金鯨 (キンシャチ)

学名: *Echinocactus grusonii*

今回展示しているこの「金鯨」は、60年以上は生きていたと思われる大型のサボテンで、成長が一回止まって死にかけてたことがありました。しかし、その後見事に復活し成長を再開したため、このようにだるまのような面白い形になったものです。



亀甲竜 (キッコウリュウ)

学名: *Dioscorea elephantipes*、ヤマイモ科

ご覧ください、この表面！まるで亀の甲羅のようでしょう。アフリカが故郷のヤマイモの仲間の多肉植物です。亀甲模様が入っている岩のような塊根の部分に、水や養分を蓄えて乾燥した場所でも生きていくことが出来るようになっています。ここから緑の紐のようなつるを伸ばし、ハート形のかわいい葉をつけます。



マハラジャ

学名: *Euphorbia lactea*、トウダイグサ科

今回の目玉?! 一度見たら忘れられない、白とピンクの扇子を振っているような姿で、名前にふさわしくインドが故郷の植物です。日本名では「夕焼けサンゴ」とも呼ばれています。実は、「マハラジャ」の本体は上のひらひらした部分で、下の扇子の柄のような部分は「キリン角」という別の植物。「マハラジャ」は本来、柱状に育つ植物が緋化(テッカ)とアルビノ化という突然変異を起こして扇子のような形に育ったもの。下の別に植物に助けられて育っている植物なのです。



リトープス

学名: *Lithopus*、ハマミズナ科

様々な種類のリトープスをみんなまとめて植え込んでみました。通称「リトープス丼」！この「リトープス」の仲間は、石に擬態して周辺の様々な石の色に合わせ、外敵に見つかりにくいように様々な模様に進化したといわれています。種類によって色や模様が違うため、「生きた宝石」と呼ばれることもあります。

花もとても綺麗で、秋になると植物の真ん中から菊のような美しい花が咲きます。

※画像はイメージです。展示品の現況と異なる場合があります。

伊豆シャボテン動物公園

〒413-0231 静岡県伊東市富戸 1317-13 TEL:0557-51-1111(代)

URL: <https://izushaboten.com/> ※詳細はホームページをご覧ください

【入園料金】中学生以上 2,400 円、小学生 1,200 円、幼児(4歳以上)400 円